

1. 科目名 (単位数)	韓国の文化と言語 I (2 単位)		3. 科目番号	GECM1315
2. 授業担当教員	橋本 琢			
4. 授業形態	講義、演習	5. 開講学期	春期	
6. 履修条件・ 他科目との関係				
7. 講義概要	2002年ワールドカップ日韓共催以後、K-POPを始め、韓国ドラマやハングルに対する関心が急速に高まっている。こうしたことを踏まえて、本学でも韓国の大学と協定を結び、また、韓国短期研修も実施している。そのため、本講義ではハングルや韓国に関心がある初心者の学生を対象に基本的なハングルの学びながら、韓国の文化や社会についても学習することを目的とする。講義内容は難しい文法よりは、分かりやすい日常会話、すなわち実用会話を中心に学習する。また、韓国の文化や社会などについても学習し、韓国社会の理解を高めることにする。			
8. 学習目標	<p>学生には下記の目標を達成することが期待される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 韓国社会や文化に対して基本的なことを理解する。 2. ハングルの文字を覚え、韓国語の読み、書きができる。 3. 簡単な日常会話ができる。 4. 韓国語で簡単な自己紹介ができる。 5. 韓国旅行のとき必要な基本的な言葉を覚える。 			
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<p>課題1：4回の授業までにハングルの文字を覚える。 課題2：最終授業の時まで韓国語で簡単な自己紹介ができるようになる。 課題3：第3回目の授業以降、授業開始時に10分程度の小テストを実施する。 課題4：夏休みには指定された日韓の比較文化に関する書籍を読み、「日韓比較文化」についてのレポートを作成する。(猶、文献については下記【参考書】より教員が指定する)</p>			
10. 教科書・参考書・ 教材	<p>【教科書】 李志映『新装版 できる韓国語 初級 I』アスク出版、2010。 【参考書】 石田美智代監修『『あいうえお』から覚えるいちばんやさしいハングル練習ノート入門編』、永岡書店 2019。 鄭銀淑『馬を食べる日本人 犬を食べる韓国人』ふたばらいふ新書、2002。 金栄勲『韓国人の作法』集英社新書、2010。</p>			
11. 成績評価の規準と 評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ハングルの文字を読み、書きができるのか 2. 簡単な会話ができるのか 3. 韓国の文化について理解されているのか <p>○評定の方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ミニテスト及び授業への参加度：40% 2. 課題レポート及び予習ノート：30% 3. 小テスト：30% 			
12. 受講生への メッセージ	<p>言葉が通じた時の喜びを実感しよう。 本学の基本方針として学生個人の思考力、創造力、問題解決能力を育成することを目的としている。 受講生は上記の目的達成のため、下記の事を守ることが期待されている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 授業中は常に緊張感と集中力を保ち、積極的な態度で授業に参加することや発音などの練習のときは大きな声を出す。 2) 韓国語の学習と並行して韓国文化についての紹介、解説を各講義時に適宜してゆく。 3) 授業中に理解できなかったことをそのまま放っておかず、質問をする。 4) 授業中は私語、居眠りまた途中入出をしない(正当な理由以外は減点の対象になる)。 5) 宿題及びレポートの提出期間を厳守する。 6) 韓国文化に関するグループ討議や会話のロールプレイには、メンバー全員が積極的に参加し、また他人の発表はきちんと傾聴する。 			
13. オフィスアワー	授業中に通知する(時間割表掲載のオフィスアワー欄参照)			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第1回	オリエンテーション 授業概要についてシラバスを中心に説明する	事前学習	シラバスの確認および学習用ノートを準備して授業に臨む	
		事後学習	韓国語の由来及び構成を確認する	
第2回	基本母音と子音(平音)の学習	事前学習	pp. 8~14を読み、基本母音、子音(平音)を理解する	
		事後学習	授業で学習した内容を発音しながら、学習用ノートに書いて覚える	
第3回	子音(激音と濃音、パッチム)の学習	事前学習	pp. 15~24を読み、子音(激音)と子音(濃音)の基本母音と子音、パッチムを理解する	
		事後学習	授業で学習した内容を発音しながら、学習用ノートに書いて覚える	
第4回	合成母音の学習と文字の復習	事前学習	pp. 25~32を読み、合成母音を理解する	
		事後学習	合成母音と文字の復習で学んだことを発音しながら、学習用ノートに書いて覚える	

第5回	韓国的一般事情について理解する	事前学習	外務省の大韓民国基礎データを閲覧し、ノートにまとめる
		事後学習	韓国と自国との基礎データの比較についてまとめる
第6回	第一課、私は日本人です。	事前学習	第一課 (pp. 40~43) の例文を音読し、「基本文型練習」に解答を記入しておく
		事後学習	授業で学習した例文を音読し、「自己紹介」を暗記する
第7回	第二課、私は日本人ではありません。	事前学習	第二課 (pp. 44~49) の例文を音読し、「基本文型練習」と「応用練習」に解答を記入しておく
		事後学習	授業で学習した例文を音読し、「話してみましよう」、「聴いてみましよう」、「書いてみましよう」を復習する
第8回	第三課、それは何ですか。	事前学習	第三課 (pp. 50~55) の例文を音読し、「基本文型練習」に解答を記入しておく
		事後学習	授業で学習した例文を音読し、「応用練習」と「書いてみましよう」を復習する
第9回	第四課、約束があります。	事前学習	第四課 (pp. 56~61) の例文を音読し、「基本文型練習」に解答を記入しておく
		事後学習	授業で学習した例文を音読し、「応用練習」と「話してみましよう」を復習する
第10回	第五課、会社はどこにありますか。	事前学習	第五課 (pp. 62~67) の例文を音読し、「基本文型練習」に解答を記入しておく
		事後学習	授業で学習した例文を音読し、「応用練習」と「聴いてみましよう」、第1~5課の復習問題に解答する
第11回	第六課、週末は何をしますか。	事前学習	第六課 (pp. 68~73) の例文を音読し、「基本文型練習」に解答を記入しておく
		事後学習	授業で学習した例文を音読し、「応用練習」と「話してみましよう」、「書いてみましよう」を復習する
第12回	第七課、そんなに遠くありません。	事前学習	第七課 (pp. 74~79) の例文を音読し、「基本文型練習」に解答を記入しておく
		事後学習	授業で学習した例文を音読し、「応用練習」と「話してみましよう」を復習する
第13回	第八課、いつ行きますか。	事前学習	第八課 (pp. 80~85) の例文を音読し、「基本文型練習」に解答を記入しておく
		事後学習	授業で学習した例文を音読し、「応用練習」と「話してみましよう」を復習する
第14回	第九課、釜山までどうやって行きますか。	事前学習	第九課 (pp. 86~93) の例文を音読し、「基本文型練習」に解答を記入しておく
		事後学習	授業で学習した例文を音読し、「応用練習」と「話してみましよう」、「聴いてみましよう」を復習する
第15回	自己紹介と会話のロールプレイ	事前学習	ハングルで自己紹介をノートに書いて授業に臨むこと。
		事後学習	自己紹介文と、授業時に作成した会話のロールプレイを覚える